

19年度第5回 子育て・環境・魅力づくり部会 摘録

開催日時 平成19年10月25日(木) 18時30分～20時30分

会場 幸区役所第二会議室

参加委員

専門部会B委員：今井部会長、松世副部会長、小保方委員、小島委員、酒井委員、庄司委員、菅野委員、成田委員、根本委員

事務局：高橋主幹、北村主査、小出職員、吉田職員

傍聴者1名

議題

1. 「ごみ減量化・リサイクル」について

(1) 検討内容の絞り込み

(2) 中間報告の報告者・分担決め

2. その他

(北村主査)

傍聴人の方も御了解ください。資料の確認としてA3横、第5回会議のレジユメ、資料1と2がある。議事進行については部会長にお願いします。

1. 「ごみ減量化・リサイクル」について

(今井部会長)

本日の部会の流れは、ごみ減量化・リサイクルを進めるために資源集団回収の取り組みをもっと地域でPRして取組みを広げることが必要であるという提案によって、前回は環境局の担当者から「ごみ減量化・リサイクルについて市内の取組みの概要を説明していただいたが、本日は具体的な検討事項、検討内容を絞り込んでいきたいと思っている。次回の区民会議への中間報告を行うために、報告の内容と報告者を決めさせていただきたいと思う。

まず前回の部会検討状況の確認をする。前回は環境局から川崎市のリサイクル企画の概要説明のあと、質疑や意見を出していただいたが、主な委員の意見についてはお手元の参考資料を基に松世副部会長から報告を願いたい。

(松世副部会長)

前回は、みなさんからたくさんの御意見を頂戴した(参考資料) 商店街の1店舗1エコ運動の取組等をもっと広げていけると良い。自分の家のごみ袋を見ていると、半分以上はビニールごみ。それも減らしていきたい。レジ袋とか、余計な容器のごみ、1回切りで使い捨てしてしまうものを何度も繰り返して使えるものへ変えていくことが必要ではないか。子どもたちは学校で

ごみについて学ぶ機会があるが、大人たちも学ばないとわからないことがあると思う。私の地区ではPTAで週に1回、資源集団回収がある。まったく困らずに古着とか古紙等を出している。ごみを減らすということは、資源集団回収を増やさなければいけないと思う。普通ごみとして、生ごみを燃えるごみと一緒に出している。焼却すると費用がたくさんかかるが、堆肥化させてリサイクルさせれば費用がかからない。大規模な団地もマンションも、そのまま普通ごみで出していると思うが、これから生ごみをどうするかが問題になってくる。「かわさきチャレンジ」というのがあるが、幸区でも「幸チャレンジ」というのをつくってやってみてはどうだろう。ミックスペーパーの分別収集や資源集団改修事業の拡大等を進めていく。商店街の方々と一緒になって、マイバックがあるので買い物袋も要らないというとか。買い物から始めたい。マイバックを持って行って、買った物を詰めてスタンプを押してもらって、何回押したらお金に換金するという形にすれば、取組みが進むと思う。買う側にも何かメリットを与えないといけない。ミックスペーパーがトイレットペーパーになるので、そういった賞品を積極的に売るとかPRするとか。以上です。

(今井部会長)

前回までの検討状況について、他に補足説明やこれは違うのではないかという御意見があればお願いしたいと思う。前回いらっしゃっていない方もいるので何か質問等でも結構です。今、町屋副会長に読んでいただいたようなお話が、前は出ていた。

(菅野委員)

環境局の話聞いていないので分からないが、現状はどうなっているか明確に知る必要がある。粗大ごみと一般ごみの違いはどうか、どういう形で粗大ごみは収集されているのか、衣料や布団はどうなっているのか等を正確にして。横浜ではペットボトルを持っていかず、一日一万個も残っていることが問題になっている。ご存じの方もいると思うが、中越地震のとき、ごみ運びの貨車を川崎市は新潟まで送った。今でも高津、宮前区から貨車で運んでいる。そういう現状を知って、問題は何なのか、直すにはどうしたらいいのかという論議に進んでいくんだと思う。前回欠席して環境局の方の話聞いていないのですが、そういう話も進めていただきたい。

(今井部会長)

それについては、前回説明をしていただき、先ほど副部会長からあった話で出たのだが、幸区にとって何がポイントかということまで絞り切れておらず、その辺の話を詰めていきたい。幸区として何から取組めるのか。庄司さんはいかがですか。

(庄司委員)

今の問題点と幸区の特徴ということで言うと資料2の2番目のところに「ごみの内訳」がある。紙類が45%を占めているということに関しては、もっとミックスペーパーの回収が進んでくれる

といいと思う。川崎チャレンジのように幸区も3つぐらいポイントを絞り、共有できたらいいねという話は前回あった。

(今井部会長)

幸区でこういう取り組みということに注目して、何か宣言があるとだいぶ違うかもしれない。ミックスペーパーは個人的にもいいと思うので、ぜひとも入れた方がいい。

(小島委員)

個人的なことは分からないが、モデル地区でそういうことやっている地区ある。

(今井部会長)

それはどんどんみんなで取組んでいけると思う。マイバックは商店街の方とか一緒になってやっていかないと、持っていくことはできるが、負担をかけてしまうこともあるかもしれない。ポイントを還元するということになれば、別の話になってくるかもしれないが。

(庄司委員)

自分が持っていくのだから、商店街の負担にはならないと思う。

(菅野委員)

事業ごみはお金を取られている。現状を一般区民も知る必要がある。売り上げの何%か持っていく業者もある。

(今井部会長)

ごみをごみじゃないという意識をもつ必要がある。資源をごみだと思っていないか問いかけしたらおもしろいかもしれない。ごみと思いこんでも、結構ごみではないことに最近気づいて、反省することもある。

(庄司委員)

リサイクル、回収された後のことは分からない。どうなっているのか情報として伝えることも大事かもしれない。以前、夏休みに親子でごみカレッジに集ってもらい、ペットボトルやビン、缶をどう分別して出すかということがあった。今、話があったごみと資源のプログラムもあるといいと思った。

(今井部会長)

その会はどこが主催なのか。

(庄司委員)

ごみ懇談会というグループが主催している。

(今井部会長)

環境局の事業で、環境教室という感じで呼ぶと来てくれるのはなかったか。

(庄司委員)

出前教室でごみの分別を指導しているようです。

(今井部会長)

そういうのを幸区でやっていていただいたら、少しは違う。

(庄司委員)

小学校ではすでにやっている。自治会とか町内会などでやっているかどうかは、わからない。

(事務局)

それに関しては、資料 2 の 3 ページ目行政の取組で「出前スクール・ふれあい出張講座」で書かれている。

(今井部会長)

もしよろしければ、町内会で呼んでいただいて勉強していただくのはどうだろうか。知らない方もいるみたいなので。町会や PTA の御協力を得ながら「出前スクール・ふれあい出張講座」を回数を増やしていきませんかというのはどうでしょう。

(成田委員)

・市全体で 15 件ということなのか。

(今井部会長)

区内である。市内全部ということはない。職員の方も大変と思うが、少ないですね。呼んでいただいたら嬉しいのでは。

(根本委員)

言わなきゃこないと思う。

(成田委員)

知らないなら、知ること意識が変わると思う。意識を変えていくことが大事だと思う。

(今井部会長)

前回の部会から、よくペットボトルはキャップを外して出しましょうとあるが、そのキャップを集めると車椅子をもらえるという話を聞いて集めている。そういうことで結構知らないことは多いのでは。

(成田委員)

それは民間の業者がやっていることなのか。

(今井部会長)

調べていただきたいと思っている。

(庄司委員)

パナソニックでやっていると聞いたことがある。

(今井部会長)

意外と牛乳パックをスーパーに持って行って捨てるのは、なかなか取組みにくいですが、キャップぐらいなら軽いし取組みやすい。実はごみにしなくても役に立つものがあれば、出前スクールのようなところで言うと意識が変わる人もいると思う。幸区でもどんどん呼びましょう。

(庄司委員)

アルミ缶のプルタブは、危ないから外さないよう業者から言われている。

(今井部会長)

プルタブは、バックに入れたら手が切れそうで、結局続いているのがペットボトルのキャップだ。

(庄司委員)

リサイクルになるものを見落としていることが多い。ペットボトルをきちんと洗うことからチャレンジ3Rのゴミを減らす。ポイント分けして、一つ一つ何をしたらいいか考えたらいいと思う。

(今井部会長)

リデュース・リユース・リサイクルで何か一つを。ごみを減らすということでは、やはりレジ袋になる。

(庄司委員)

レジ袋は取り組みやすい。川崎市とオダキューOXが有料化を始めた。有料にしなくても商店街ではポイントになり、袋を使わないことはお互いの得になる。

(菅野委員)

袋がいらないと言うと5円戻ってくるところがある。会計のときに、袋いりますかと聞かれ、いらないと言うと5円を戻してくれる。

(今井部会長)

5円とか6円といわれると考えるし、持とうという気になると思う。レジ袋を自分でもって歩きましょうということですね。

(酒井委員)

前回休んだが、摘録を読ませていただいた。お茶碗一杯分のごみを各家庭で減らすことは、気を付ければできると思う。大手スーパーでは袋いらないというポイント制になる。個人商店やコンビニでは、言わないことが多いけれど、昔は買い物かごを持って買い物をしていた。一言を思い出せば、お茶碗一杯を減らすことに繋がると思う。

(今井部会長)

レジ袋から減らしていこうということでは、川崎市ではマイバックのコンペがあったと思うが。

(庄司委員)

みなさん関心が高く、結構男性もマイバックを持っている方がいる。

(今井部会長)

再使用ではどのようなことが取り組みやすいか。どこかではフリーマーケットの回数を増やす取り組みがあった。商店街の祭り毎にフリーマーケットをやってもらえるといいと思う。

(庄司委員)

道路でやるのは許可が下りなくなったようだ。

(松世副部会長)

駐車場でやったりする個人的なものに、私たちが参加できるかは難しい。

(根本委員)

資源を使うという意味ではいいと思うが、最近は販売が目的になっている。ここでは資源回収、ごみなどの話なので、少し違うと思う。問題になっているのは、市で年内出ているペットボトルがあり費用もかかっている。ドイツでは同じペットボトルを何十回も使うし、再検査もして使うし、ダメなものはリサイクルする。日本では今の段階では再生のためのリサイクルであり、長いサイクルで回収する形は取っていない。日本でも回数を多く使い、もう一度リサイクルする形が出てくると思う。日本から資源を出してしまうと帰ってこない。中国はすごく成長している。金属類も同様だ。海外へ出さずに国内で回転させていかないと大変なことになると思う。ペットボトルも30～50回は使ってから出さないといけなくなると思う。値段は上がるかもしれないが、その間長く使う。環境教育や出前講座は大事になってくる。江川町では職員が来て実施したが、やはり間違いがあった。化粧品、ソースなど油物のビンは回収できないということ。そういう知らなかったことを幸区の中で周知した方がいいと思う。環境局に連絡した方がレベルアップが図れると思う。

(今井部会長)

再使用という意味では、ビン類はなるべく使うことがいいと思うが、今の話では油がダメということもある。このビンなら間違いなく使えるというのはあるのか。

(根本委員)

食べるものと飲むもの。

(酒井委員)

ビール、酒、ジュースなど。ワインは砕き、カットビンにして溶かすが、1本12円と高い。

(小島委員)

ビンのことは葉山さんに聞きたい。

(傍聴・葉山委員)

一般家庭のビンについては不明な点がある。スナックなどは回収させてもらい、1枚250円の袋に詰めて週に一度、業者が取りに行く。回収については費用がかかる。将来的に一般家庭でも回収すると1袋250円ですぐいっぱいになる。我々の業界ではただ捨てるのではなく、そのように処理している。ビールビン、一升瓶はリサイクルできるので持っていく。一升瓶は詰め替えるより新しく作った方が単価が安い。ウイスキーや焼酎のビンもお金をかけて業者に持ってもらう。

(菅野委員)

鉄でもリサイクルの方がお金がかかる。今から40年くらい前は溶鉱炉に古材を入れて作っていたがお金がかかった。今では電線、くず鉄は日本で処理するところではなく中国へ行く。処理する方法がない鉄くずは、再生の方がお金がかかる。

(今井部会長)

ビール瓶は持っていってくれるというだけで、例えば、一般家庭がビールビンを持っていったら何かもらえるのか。

(傍聴・葉山委員)

ビールビンは5円で引き取るが、それ以外のものはあまり喜ばれない。中ビンも5円。缶よりビンの方がいい。

(今井部会長)

そうなら缶ビールよりビンビールを買って持っていった方がいいかも。お金がもらえるなら、若いお母さんとか興味持つかもわからない。

(菅野委員)

ビンは保管が利かない。

(小島委員)

昔は袋を持って買いに行っていた。

(酒井委員)

今は缶は缶、アルミはアルミで、うちの方では作業所があり業者に仕分けしてもらう。

(小島委員)

アルミはきれいにして持っていく。

(今井部会長)

かわさきチャレンジ・3Rの推進では、リユースはビンのような再度使えるものを増やすとなっている。

(小島委員)

いずれにしてもゴミの減量化は、区民の一人一人が努力すること。ここでいくら議論したって1人1人が努力しないと無理。今は便利すぎて逆に困ったことになっている。

(庄司委員)

なかなか現状が難しい。理想はあっても現状がついてこない。便利さからいったら、みんな缶の方が簡単に捨てられる。瓶は運ぶときに重たい。

(庄司委員)

いかに最初の部分でごみになるものを減らせるかということ。再利用はそのままで使うということもある。

(酒井委員)

この前の資料で、古着回収のチラシがあったが、PRが足りな気がした。最近では、バザーでも古着を扱わないことが多い。使わなくても再使用してほしい物も中にはある。東南アジアに送るとか、どうしても使えないものは糸にするとか。いただいた資料にあった気がする。

(庄司委員)

綿はそのまま送れても、スーツやコートは送れないことを聞いたことがある。

(小島委員)

衣類も東南アジアとかに送ると、運賃がかえって高くつく。

(酒井委員)

古着をさらに500円払って送るというものもあった。

(小島委員)

毛布1枚で千円かけて送ることだってある。

(庄司委員)

中野呉服屋は有名である。

(部会長)

23日に横浜でNPO法人のネットワークと中野呉服の取組みが紹介され、お互いにNPO法人も中野株式会社もいい取組みができていて、みんなが喜んでいる。ああいうことができるといい。

(庄司委員)

リユースなのかリサイクルなのかが微妙なところだと思う。

(菅野委員)

行政ではリサイクルと捨てる紙の基準はあるのか。

(事務局)

再生紙でできているものとできていないものを色で分け、リサイクルしてトイレットペーパーになっている。本庁舎や区役所では使っている。環境局は両面印刷から分別、トイレで再利用の取り組みをしている。役所から出る紙ごみはやはり多い。

(菅野委員)

365日郵便がこない日はない。宣伝の紙ばかりだ。

(松世副部長)

ごみを減らすためには資源集団回収の増やそうとお話したが、小学校のPTA資源回収回りでは週1木曜日何でも持っていってくれる。集まった資金はPTAに入る仕組みになっている。どこでもやっていると思っていたがそうでもない。みなさんの地区でも検討してみしてほしい。資源集団回収を増やすことを考えてみたらどうか。週に一回でもかなりの量がある。50ヶ所あるところに回収屋さんが回っており、雨の日は翌週にある。月一では忘れられてしまう。PTAがないなら町会で回られてはどうか。うちの方は年に一度場所を借りている所にタオル1本を持ってき、毎年お願いしている。雨の日は困るので出さないよう見回りを何十年もしている。

(小島委員)

こちらの方では木曜と日曜、週2回やっている。

(松世副部長)

場所もかなり数の箇所を置いた方がみなさん出しやすいと思う。遠くまで行くと面倒くさくなるので、歩いていける範囲だと便利だと思う。資源集団回収を増やすことを考えていったらどうかと思う。月に1回ではだめ。あと雨で出せないなので、週に1回程度の資源集団回収が必要だと思う。PTAがやればいいのだが、ないところをどうするか。

(庄司委員)

小学校はやっているところが多い。エリア的にはカバーできていそう。知っている人は知っているし、知らない人は知らないと思う。

(小島委員)

うちの地域では資源集団回収は、うまくいっていると思う。

(成田委員)

全体でマップに落とすことは可能なのか。

(松世副部長)

全体は分からないが、うちの地域はマップに表示している。子供会、PTA、町会あるいは野球部でしているところもある。

(今井部長)

だれがまとめてマップに落としているのか。

(松世副部長)

うちではPTAです。

(庄司委員)

ごみの内訳では紙が45%出ている。リサイクルに回すべきごみが、一般ごみとして出ているということ。

(小島委員)

広告などチラシの量が邪魔している。

(菅野委員)

結ばないと持っていかない。

(酒井委員)

ミックスペーパーはどうなのか。過剰包装や紙袋などはかなりの量がある。

(今井部長)

これまでの話を整理すると、出前講座をより区内で広め、集団回収の回収回数を各町内会やPTAで増してほしいということ。ミックスペーパーは今のところどうしたらいいのか。

(成田委員)

私は、資源集団回収に出ていないところがありあそうなので、資源集団回収の回数を増やすことにより、回収率が良くなるのではないかと思う。

(今井部長)

提案事項としては、資源集団回収の回数を増やしてほしいということ、ミックスペーパーについては、勉強して意識を高めていく、買い物袋をもってレジ袋を減らそうということくらいか。

(成田委員)

明後日バザーがあり、PTAで私も関わっている。エコバザーにしようということで、マイ箸をもっていこうということが考えられた。

(庄司委員)

祭りの割り箸やトレーの使用後が気になる。

(成田委員)

一つずつクリアしていけたらと思う。

(今井部会長)

マイバック、マイ箸、マイボトルとかから。今のところ話が出ているのは、マイバック、ミックスペーパーの出前講座、資源集団回収の回数、その3つから始めたい。

(根本委員)

マイバックは出前講座であれば、環境局で出している水色のものがもらえる。どんどん出前講座を増やして水色の買い物袋をもらえばよい。リサイクルできるものなのか材質は不明だ。リサイクルできない材料であれば、結局捨てることになる。ある会社で出しているものは無料で贈呈し、リサイクルできる材質を使っている。使って痛んだり汚れたりしたものは持っていき、再生してもらうことで製品化される。市としても贈呈するのなら、その辺を考えてやってほしい。

(今井部会長)

幸区が転入者に差し上げているものはあるのか。

(事務局)

「ようこそ幸区へ」という封筒に入れて配布している。ゴミ袋、ごみの出し方などの説明をいれたもの。

(庄司委員)

マイバックを持っていこうというなら商店街の人と一緒に模索できたらいいと思う。いきなり袋に入れず、マイバックお持ちですか？って一言聞いてもらえたらいいと思う。些細なことでもお金をかけずにできることはたくさんある。

(庄司委員)

マイバック推奨のポスターを貼らせてもらうとか。

(松世副部長)

いろんな意見をいただいて幸区でも3Rをしたいということでマイバックを増やすなど意見が出たが、そういうPRをしないといけない。ごみを減らす意識を地域の人々に知ってもらうために、リサイクルの行程を知らないといけないので出前講座をしてもらいたいという話し合いを行う。そして、資源集団回収を増やしてリサイクルにあわせたPRをしていきたい。この3つの柱ができたが、この辺で固めていけたらいいと思う。地域の人々の意識を変えていきたい。

(今井部長)

何かキャッチフレーズはないか。幸チャレンジとして3つ並べるとか。

(庄司委員)

もったいないから3Rとか。

(部長)

幸チャレンジとし3つ並べて長く説明せず簡潔にしたほうがいい。マイバックを持ちましょう、リサイクルを学びましょう、毎週回収では。

(松世副部長)

3Mはどうか。学ぼうとか。学ぼう資源分別では。

(今井部長)

問いかけ風にしてみてもどうか。マイバックはお持ちですか、ごみの行き方をご存じですか。毎週資源集団回収してますかとか。

(庄司委員)

チャレンジというからには問いかけはどうなのだろう。

(今井部長)

マイバックを持とう、資源を分けよう、集団回収に参加しよう、学ぼうごみと資源、とか。

(庄司委員)

学ぼうでは押しつけのような気もする。

(今井部長)

持とう、マイバック、分けよう資源、参加しよう資源集団回収と、「しよう」で統一した方がいいのか。そういう感じで区民会議にまとめていいか。

全体会の概要報告を小島委員にお願いしたい。また、部会の検討事項、方向について、どなたかをお願いしたい。

(松世副部長)

「ごみ減量化・リサイクル」は前回環境局の方が説明して下さったのを事務局でまとめていただいた。プラス私たちが検討していることを説明する形になる。小島委員にどちらかをお願いしたい。

(小島委員)

今のところ日程調整が難しいのでお約束できない。

(今井部長)

今までお願いしていない方で根本委員と菅野委員はいかがか。

(松世副部長)

こういう問題なので商店街の方とも一緒になって取組めたらと思うが、今日はいらっしやらないので仕方がない。

(今井部長)

根本委員か菅野委員、小保方委員どなたかお引き受け願えないか。3人で分担してお願いできないか。川崎市の取組み報告は根本委員にお願いして、部会の検討方向の説明は菅野委員どうか。

(菅野委員)

前回出ていないので分からない。

(今井部長)

では、川崎市の取組み報告は根本委員にお願いして、検討事項と方向の説明は副部長か部長で行おうと思う。他にないかあるか。次は中間報告ですよ。

(事務局)

前回、環境局のお二人に来てもらい取組みの現状と課題。その時の資料をベースに資料1を作っているのが根本委員はこれをベースにするか報告する。今日のポイントの絞り込み方によって、いるものといらないものの整理。前回出られていない方には環境局の発言資料をパワーポイントで用意している。特に説明必要ないか。

(今井部長)

はい。全体会の日程調整は事務局から追ってご連絡いただきたい。

(根本委員)

発表の前にうち合わせしたい。

(今井部会長)

発表の詳細については後日打ち合わせした方がいい。ある程度事務局の方で決めてもらい集まって確認しますか。資料1をベースに検討したい。

(事務局)

川崎のごみの現状と課題について、この部会の皆さんを始め、全体会の他の皆さんにもご理解していただくために資料1をご説明して作らせていただいた。中身としては環境局からの資料と説明したものを整理したものだ。

<パワーポイントをつかった資料1の読み上げ>

(今井部会長)

事務局が言ってくださったことをポイントに絞ると分かりやすい。市内で新たな埋め立て処分地をつくるのは困難ということだけではなく、もう少し説明したい。時間が8時30分を過ぎてしまうこともあり、根本委員がもう一度読んでくださるそうなので、その辺を削ってもらいもう少し改良するということでお任せいただきたいと思います。連絡事項は他にあるか。

2. その他

(事務局)

ないです。

(部会長)

全体会はお任せいただきたいと思います。ありがとうございました。